

計画期間：令和2年度～令和7年度

将来像：人がつながり幸せをつくる 快適未来都市～「暮らしたいまち 日本一」を目指して～

- 先端技術や情報通信技術であらゆるモノや情報が「つながり」、新たな価値を生み出す、暮らしの利便性が高いまち
- 人やコミュニティなどの「つながり」が充実した、暮らしの安心感が高いまち
- 「荒尾に住んで良かった」「荒尾で暮らしてみたい」と思える魅力あるまち

推進指針

- ① 「まち」の創生 先端技術の積極的な活用により暮らしの利便性や満足度を高める一方で、地域コミュニティの充実を併せて推進することで暮らしの安心感を創出し、まちの魅力を高める
- ② 「ひと」の創生 妊娠から出産、幼児教育・義務教育・高等教育までの一貫したサポートで、子どもを産み育てやすい環境をつくとともに、子どもから高齢者まであらゆる市民が健康で生きがいをもって生活できるようにする
- ③ 「しごと」の創生 経済の活性化により安定した暮らしを守るとともに、起業など夢の実現を応援する

重点戦略「あらお未来プロジェクト」

横断的目標

こどももみんなも笑顔でいられるまちをつくる

1. 切れ目のない充実した子育て環境をつくる
2. 誰もがつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる
3. 雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる
4. あらおファンを増やすとともに、移住しやすい環境をつくる
5. 先進的で持続可能なまちをつくる